



第六中学校 学校だより 第5号

令和 8 年 9 月 1 日

「挑戦」が未来を創る 2 学期に！

校長 石橋 聡

令和 8 年熊本地震、令和 8 年 8 月千葉豪雨、全国各地の記録的豪雨により被災された多くの皆様によりお見舞い申し上げます。一日も早い日常生活の復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

長い夏休みが終わり、六中に生徒の元気な声が戻ってきました。

1 学期の終業式の式辞では「一人ひとりが何かをやりきる夏にしよう」、「進路選択をする力を磨こう」という話をしました。その期待どおりに、充実した体験を積み、一回り大きく成長した姿を見ることができ、とても頼もしく感じています。

部活動の大会やコンクール、日々の活動において六中生の活躍はとても立派でした。特にうれしかったのは、市内大会ではどの部も最後まであきらめない戦いを見せてくれたことです。大切なことは、勝っても負けても、自分の思いどおりにならなかったことも、その経験を受け入れ、次の自分の成長につなげていくことです。なかでも弓道部の関東大会出場、陸上部、女子ソフトテニス部、卓球部の県大会出場は大変素晴らしかったです。どの部活動もこれまでの取組に自信と誇りをもって、さらなる高みを目指してほしいと思います。

さて、2 学期のスタートにあたり始業式では次の 3 つの話をしました。

一つ目は、「あいさつ」です。あいさつは人と人の心をつなぐ第一歩です。自分から進んで気持ちのよいあいさつができる学校は、誰もが安心して過ごせる温かい学校になります。

二つ目は、「授業を大切にすること」です。自分の考えを伝え、仲間の意見をよく聞き、仲間と協働しながら自分の考えを深めていくことが大切です。将来の社会で必要となる力を授業の中で磨いていきましょう。

三つ目は、「挑戦すること」です。2 学期は学校行事など自分の力を発揮する場面がたくさんあります。「できるかどうか」ではなく「まずやってみる」という気持ちで挑戦し、自分を成長させてほしいと思います。

学校は、自分の目標を持ち、その目標の実現に向けて仲間と共に学び、努力する場所です。何事にも前向きに取り組んでほしいと思います。また、学校は将来必要なコミュニケーション力を身に付ける場でもあります。社会では初対面の人や自分と考えが違う人とも協働して新しいものを創造していく力が求められます。この 2 学期の「挑戦」が六中生の未来を切り拓く力になることを期待しています。

<保護者・地域の皆様へ>

2 学期も教職員一同、全力で子どもたちを支援してまいります。体育祭や合唱 コンクールなど学校行事も予定されておりますので、保護者・地域の皆様のご支援とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

防災週間 「自助・共助」へのご協力を

9 月 1 日は、「防災の日」。8 月 30 日から 9 月 5 日までの期間は「防災週間」です。

全国的に地震や豪雨による被害が発生しております。この防災週間を機に防災意識を高めていけるよう学校でも支援してまいります。市内一斉の引き渡し訓練は 3 年に一度となり、次回は令和 10 年度を予定していますが、**震度 5 強の地震が発生した際は保護者引き渡し**となりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

部活動の活躍

夏休み中、運動部の総合体育大会、県大会、関東大会、文化部の公演会やコンクールなどにおいて、六中生の一生懸命に頑張る姿が見られました。様々な場面で活躍した部活動の様子を紹介します。

<県大会・関東大会に出場した部活動>

千葉県大会出場・・・女子テニス部 卓球部

弓道部 陸上部

関東大会出場・・・弓道部



<演劇部 公演会>

8月2日(日)に本校体育館にて公演を行いました。生徒たちが一から創り上げた舞台は観客を魅了し、大きな感動を届けてくれました。



<管弦楽部 TBS こども音楽コンクール出場>

8月29日(土)に開催されたコンクールに出場しました。夏休み中に重ねてきた練習の成果を発揮し、一音一音に思いを込めて演奏しました。



<美術部 階段アート>

夏休み中に美術部が制作した階段アートが完成しました。校舎内がとても明るく華やかな雰囲気になりました。



<園芸部 環境整備>

夏休み中も、園芸部の皆さんが環境を整えてくれました。畑では作物がすくすくと成長し、花壇では雑草を丁寧に取り除きながら新学期に向けて準備を進めてくれました。



松戸市中学校英語発表会

8月21日(金)に松戸市中学校英語発表会が開催されました。本校からは3年生生徒がスピーチの部に出場し「生で見る相撲の魅力」について伝えました。



平和大使長崎派遣

松戸市では市内の中学生を「平和大使」として長崎市へ派遣しています。今年度、本校からは、1年生2名が参加しました。現地では、戦争や核兵器の恐ろしさ、平和の尊さについて学ぶことができました。

今後、長崎に派遣された2人の報告を聞く機会を設ける予定です。その報告を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さについて理解を深め、平和について考える機会としてほしいと思います。